

7907 大型バスが走っている．．．

大型バスが走っている。舗装された道が一本、まっすぐに続いていて、その左右はひろびろとした野原である。ところどころに、人家が見える。やがて、海が見えた。その海はしだいに迫ってきて、道のすぐ下が波打際になった。波が碎けて、白く飛び散る。

人家の密集地があらわれてきて、道はその中を貫いている。家々の陰に、海が隠れた。魚のにおいが、車内に漂った。停留所に二カ所停まり、バスはふたたび海に見える道に出て、大きく左に曲がり、しだいに海から遠ざかった。

吉行淳之介『夕暮れまで』

[英訳例]

A large-type bus was moving along the paved road. The road ran straight, and open country extended on both sides of it. Houses were to be seen in places. Before long, the sea appeared. It approached, until the waterside was just beneath the road. The surf broke white.

A built-up area came into sight, with the road running through it. The sea disappeared behind the houses. A smell of fish floated about the bus. The bus stopped at two bus-stops, came to a part of the road where the sea could be seen again, turned to the left, and gradually moved away from the sea.

[翻訳例]

A large bus was moving along the road, a solitary, paved road that ran straight ahead, flanked on either side by an expanse of open country. Here and there, houses were visible. Before long, the sea came into sight. Gradually it drew closer, until finally the surf was beating directly beneath the road. Waves broke in a flurry of white foam.

A cluster of dwellings came into view, pierced by the road; the sea disappeared behind the houses. A smell of fish drifted through the bus. Two halts, and the bus emerged once more onto a stretch with a view of the water, swung round to the left, and gradually moved away from the sea.

■大型バスが走っている。(7907)

★「大型バス」は large bus で十分です。large には size の意味が含まれているので、ことさら large-sized bus とする必要はありません。強いて使うとすれば large-type bus でしょう。それから a large bus でいいのですが、the large bus…と定冠詞を付けると、筆者が乗っているという感じが出ます。

★「走っている→走っていた」は was running か was moving ですが、was moving だけだと、was in motion の意味で、単に「止まっていなかった」と言うことを伝えるだけになってしまうので along the road を付ける必要があります。ただし、その場合には、道に重心が移って「その道を一台のバスが走っていた」となります。

■舗装された道が一本、まっすぐに続いていて、その左右はひろびろとした野原である。(7907)

★この「一本」は one の意味だけではなく、「他に道はない」ということも言っていると思われるので one ではなく single か solitary がいいでしょう。

★「まっすぐつづいていた」は(the road) ran straight ahead です。

★「その左右は・・・であった」は flank (両側に配置する) を使うことができます。これは、たとえば、The road was flanked with rosebushes. (その道には両側にバラの茂みがあった) のように使います。なお、野原を主語にして extended on both sides of it でもいいでしょう。

★「ひろびろとした野原」は an expanse of open country です。an expanse of の代わりに a stretch of でもかまいません。stretch は長さだけでいいのです。「野原」を open fields にすると「耕地」の意味になってしまうので、垣根も何もない自然のままの野原という意味の open country がいいでしょう。

●「・・・してい [て], ...であった」

「舗装された道が一本、まっすぐに続いていて、その左右はひろびろとした野原である。」は「舗装された道が一本まっすぐつづいてい(a solitary, paved road ran straight ahead) + [て], その左右は広々とした野原であった(it was flanked on either side by an expanse of open country)のように二つの {単位情報} が [て] で結ばれています。この [て] は and でも間違いではないのですが、and を使うと何か併記しているような感じで、原文と違うように思われます。日本語の {単位情報} (イメージ) の順序と感覚を活かすためには、英語では「主動詞(a solitary, paved road ran straight ahead,) + 「句(flanked on either side by an expanse of open country)」と処理します。ただ、ここでは最初の文を A large bus was moving along the road, a solitary, paved road としたので、a solitary, paved road that ran straight ahead, flanked...と関係代名詞(that)を入れないと文法的に正しい文になりません。

■ところどころに、人家が見える。(7907)

★「人家が見える」の「見えた」は were to be seen; could be seen; were visible です。were seen という言い方は観光案内などで使われますが、特殊な言い方です。

■やがて、海が見えた。(7907)

★「やがて」は、before long の他に in time も使えます。eventually も使えなくはありませんが、これは日本語の「やがては；いつかは」に近い副詞です。Eventually we will own the house free and clear. (やがて (は) この家は完全に自分たちのものになる (だろう).)

★「海が見えた」は the sea appeared でもいいのですが、少し音が少ないように感じられます。came into view あるいは came into sight です。

■その海はしだいに迫ってきて、道のすぐ下が波打際になった。(7907)

★「その海はしだいに迫ってきた」は the sea approached では「迫る」の意味ができません。the sea drew[moved] closer でしょう。

★「波打際」に the waterside を使うと静的で「波が碎けている波打際」の感じができません。surf を使って The surf were breaking[beating].とします。

★「道のすぐ下」は directly beneath the road とします。「すぐ」は just でもいいのですが、弱いので directly にします。なお、「下」の under と beneath はむづかしです。たとえば、He played the guitar beneath the window.の場合は under でもいいのですが、beneath を使いたくなります。under は「真下」の感じになるのです。

● 「[て]・・・になった」(until)

二つの{単位情報}を「その海はしだいに迫ってき(Gradually it drew closer,)+[て(and)],道のすぐ下が波打際になった(the surf was beating directly beneath the road.)」と and (finally)でも結べますが、弱いです。and を until にするか、強調して until finally に変えると日本語に合います。

■波が碎けて、白く飛び散る。(7907)

● 「[て],・・・になった」は「主動詞+句」

「{単位情報}(波が碎け)+[て]+{単位情報}(白く飛び散った)」の[て]は and を使うこともできますが、前の{単位情報}(波が碎けた)と後の{単位情報}(白く飛び散った)の関係は「結果状態(因果)」です。日本語の「・・・して・・・する」はいろいろな訳し方があると思われませんが、日本語では伝達の比重は後で、英語では前です。その上、日本語のイメージの順は、この例で言うと、「波が碎ける」→「白く飛び散る」です。このイメージの順序を守りながら英文としての正しさを求めると、英語では前半を「主動詞」にして、後半を「句」にして変換するのがいいのです。この場合ですと、「主動詞(The waves broke)+句(in a flurry of white foam.)」です。さらに、冠詞をとって Waves broke in a flurry of white foam.とすると、immediate で vivid で詩的になります。なお、この in は普通「状態を表す」と言われるものですが、into の意味が含まれていて「結果状態」です。それから、broke は were breaking でもいいのですが、broke とする方が実感があると思います。

■人家の密集地があらわれてきて、道はその中を貫いている。(7907)

★「人家の密集地」は a cluster of dwellings としてみましたが、理想的とはいえません。これですと、何となく「小さくかたまっている」という感じなのです。かといって、built-up area は「市街地」の意味でしっくりしません。

★「あらわれる」は come into view でしょう。

★「貫いていた」はかなり強い言い方なので was pieced by the road がいいと思います。bisect も考えられますが、これは cut in half の意味で、幾何学的すぎる感じがします。

● [て]

「人家の密集地があらわれてきて、道はその中を貫いていた」の[て]は and でもいいのですが、緊密性に欠けます。この「・・・して、・・・いた」も、英語では「主動詞(A cluster of dwellings came into view,)+句(pierced by the road [with the road running through it].)」とします。

■家々の陰に、海が隠れた。(7907)

★「家々の陰に」は behind them でしょう。

★「海が隠れた」は The sea disappeared くらいでしょう。disappear の代わりに vanish も可能ですが、vivid な感じと「突然」の意味が入ります。

■魚のにおいが、車中に漂った。(7907)

◆冠詞 (a と the)

「魚のにおい」は A smell of fish です。The smell of fish…でもいいのですが、これでは「(例の) 魚独特のにおい」となってしまいます。

★「車中に漂った」は drifted through the bus です。float は「浮く」で必ずしも動きがなくてもいい(The boat floated motionless on the water.)ので、ここでは無理です。

■停留所に二カ所停まり、バスはふたたび海に見える道に出て、大きく左に曲がり、しだいに海から遠ざかった。(7907)

★「停留所に二カ所停まり、バスは・・・」は The bus stopped at two bus stops…でもいいのですが、同じ音(stop)が重なるので、Two halts, and the bus…とすると、簡潔で vivid な感じになります。halt には「停まる」という意味の他に、名詞で、イギリスでは「小さな田舎の停留所」の意味もあります。

★「ふたたび海に見える道に出て、・・・」の「道」は、「(道の) 部分・ところ」ということですから the bus emerged once more onto a stretch with a view of the water,…とします。stretch は a stretch of road (一筋の道) のように使い、ここでは「道路の部分」の感じです。

● [連体修飾節+体言] (海に見える道)

「海に見える道」は「連体修飾節+不定代名詞的名詞」ですから「名詞+関係詞節」で処理することができます。したがって「名詞+関係詞節」を「句」にした a stretch with a view of the water の他に a part of the road where the sea could be seen again も使うことができます。その場合は the bus came to a part of the road where the sea could be seen again,…となります。

★「大きく左に曲がり、・・・」は swung round to the left とします。他に curved to the left も使えます。turned to the left では「大きく」の感じがでません。

★「・・・り、しだいに海から遠ざかった」は…and gradually moved away from the sea か…and gradually left the sea behind でしょう。…and gradually went away from the sea では「去って行った」「(旅行に) 出かけた」の意味もあるので、ここでは不適當です。

● [連用形] + [て] + [連用形]

「停留所に二カ所停まり、バスはふたたび海に見える道に出て、大きく左に曲がり、しだいに海から遠ざかった。」は「停まり [連用形], (海に見える) 道に出 [て], 曲がり [連用形], 遠ざかった」という四つの {単位情報} で構成されていますが、「動作順次」なので、and で連結することができますが、同時に「主動詞+句」も使うことができます。どのように組み合わせるかは翻訳者の腕の見せ所ですが、ここでは、それぞれの比重を計って「停ま

り (Two halts, and), (海に見える) 道に出て (emerged), 曲がり (swung round), 遠ざかった (and moved away)」としました。「表現の比重を計る」のも書き手の意図を解釈することの一部です。